

二中の窓

7月号

平成30年(2018年)7月20日

箕面市立第二中学校



この度の大阪北部地震、及び西日本豪雨により被災された皆さま並びにそのご家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

生徒たちは1学期の課程を終え、いよいよ夏休みを迎えようとしております。保護者や地域のみなさまにおかれましては、授業参観、PTA総会、地域学習等で大変お世話になりました。2学期には文化祭や体育祭等大きな行事を予定しておりますが、みなさまのご協力とご参加をお願いいたします。

改めて考えたい、命・平和の大切さを

命どう宝 (ぬちどうたから)

1学期を振りかえると、'命'について深く考える機会が何度もありました。みなさんは、どのように感じましたか？

先日「平成30年7月豪雨」が発生しました。被災地のみなさま、心からお見舞い申し上げます。その中で、7月9日のことを振りかえります。豪雨発生から4日後のことでした。テレビ等の報道では、中国・四国地方の甚大な被災の様子を伝え、'命'を救おうと懸命になっている人たちの姿が映し出されていました。箕面市では、土砂災害警戒情報(避難指示等)が前日まで発令されていましたが、朝になると青空が広がりじりじりと夏の日ざしが照りつけていました。そして、二中では、子どもたちの元気な声や明るい笑い声が廊下に響きわたり、そこにはいつもの学校生活がありました。その光景を見ながら、平和で安全な生活を送ることができること、そして生きることの喜びを心からかみしめることができました。また、'命'を守ることに、一人ひとりが深く考えなければならぬと思いました。

6月6日～8日には、3年生が「修学旅行」で沖縄へ行き、沖縄戦における15歳の子どもたちのおかれた状況を学びました。その学びの中から、現在の平和の尊さを感じました。平和の礎の前で、「HEIWAの鐘」を合唱しながら、平和な社会を続けていくには、何ができるのかを一人ひとりが考えました。そして、10日後の18日午前7時58分、ぐらっ…ぐらぐらぐらっ「大阪府北部地震」が起こりました。平成7年(1995年)の「兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)」のときより、揺れは短かったですが、震度(6弱)は大きく突き上げるように感じました。登校した子どもたちの人数確認と、登校していない子どもたちの安否確認を教職員で分担して行いました。電話が繋がらなくなり、なかなか連絡がつかないご家庭もありました。このときも、子どもたちの安否を心配し'命'の存在がとても気になりました。そして、冒頭にのべた7月5日の「平成30年7月豪雨」が起こりました。

近い将来に「南海トラフ地震」が起こると言われています。その時が来るまでに、家族と'命'を守る行動について話し合い、自分自身や家族がどう行動するかということを決めておくとうれしいかと思えます。マニュアル等は参考にならないこともあるかもしれませんが、しかし、一応の約束事があると、その時の対応の基準になります。'命'を守るのは、自分自身です。自分自身を守ることが、まわりの人を守ることに繋がります。ぜひ、この夏季休業中、'命'の大切さや'命'の守り方について、真摯に向き合ってみてください。



最後になりますが、健康と交通安全には十分に気をつけて、夏季休業を有意義に過ごしてください。2学期にみなさんの元気な姿に会えることを楽しみにしています。

校長 田淵 浩昭

3年生 大きな輪になった63期生修学旅行！！

6月6日(水)・7日(木)・8日(金)の3日間、沖縄本島へ修学旅行に行っていました。大阪では雨が降る場面もありましたが、沖縄では3日間とも晴天で、天候に恵まれました。

1日目は平和学習。洞窟(ガマ)に入り戦争中の人々の生活を追体験しました。ひめゆり平和祈念資料館では、ガイドさんのお話を聴いたり、ひめゆり学徒隊や戦争当時のようすについての展示を見たりしました。また、平和祈念公園の平和の礎の前で生徒会役員が代表して平和宣言をした後、「HEIWAの鐘」を合唱し全員で折った千羽鶴を捧げました。戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて実感し、自分達のできることを考えさせられました。

2日目はタクシーブランチで班ごとに計画した観光スポットを回りました。首里城で沖縄の歴史を感じ、美ら海水族館ではジンバイザメの大きさに圧倒され、エメラルドグリーンのが一望できる古宇利島を訪れ、ソーキそばやブルーシールアイスクリームなど沖縄名物をたくさん食べて、沖縄を堪能しました。各地を巡る中で班の絆を深め、大満足でホテルに帰ってきました。夕食後は、夜レク係が企画・運営をしてくれた「夜レクリエーション」。ゲームや、ダンス、歌で盛り上がりました。ステージに出て楽しませてくれた皆さん、ありがとう！

3日目の午前中はマリンスポーツ。海を駆け巡るドラゴンボートや白熱のビーチフラッグ。シュノーケリングでは、きれいな海の中で自然の風景を楽しみました。旅の最後は国際通り。昼食を食べたりお土産を買ったりしてめいっぱい楽しみ、沖縄を後にしました。

仲間と笑い合い、寝食を共にした3日間の修学旅行の思い出は一生の宝物になるでしょう。培ったクラスや学年の絆を大切に、2学期の文化祭や体育祭につなげていきましょう！



平和祈念公園での平和宣言



美ら海を背景にはい、シーサー！



2日目の夜はみんなでBBQ！



きれいな魚に魅了されました

2年生 大雨の中の宿泊学習

7月5日～6日に滋賀県へ宿泊学習に行きました。大雨のため当日に急遽予定変更するなど、予想外のこともたくさんあったと思います。そんな中でも、水族館や宿舎などでは、学年全員で楽しむことができ、友だちの新たな一面を見ることもできたのではないのでしょうか。夜レク(レクリエーション)は演奏、クイズ、ダンス、コントで盛り上がりました。宿泊学習に向けていろんな準備をしてくれたみなさん、ありがとうございました。刻々と状況が変化する中、全員で臨機応変に対応することができ、無事に帰ってくることができました。「冷静に指示通り行動する」ことができた結果ですね。

来年こそは晴れますように…。

皆で楽しみました



急ぎよ、京都水族館へ



1年生 地域に学ぶ～らいとぴあ21訪問

1年生は地域学習に取り組んでいます。まず、「地域の中の自分にBINGO」でビンゴゲームを楽しみつつ、地域に関する自分の知識や経験を確認しました。

そして、7月5日(木)の6限、らいとぴあ21(箕面市立萱野中央人権文化センター)を訪れ、職員の方に施設の説明や中高生向けの事業の紹介等をしていただきました。みんな静かに集中して話を聴いていましたが、最後のワークショップで少人数のグループに分かれ、「らいとぴあにあったら嬉しいもの」

の意見交流をしたときにはワイワイ盛り上がり、とても楽しそうでした。

夏休みから二学期にかけてクラスごとに地域ジャンボかるたを作り、文化祭に展示し、かるたを使って地域の方々と交流していく予定です。

【生徒の声】

★らくだ屋・510テリ・地蔵盆祭り・芝楽市場などを作っていた。みんなが喜ぶことをめざしてとてもすごいと思った。これからも地域の人達が喜ぶことをして地域を盛り上げていってください。

★部屋を貸してあげたり、子どもから高齢の方まで集まれるような居場所をつくっているのはすごいと思いました。図書館は何度か行ったんですけど、すごく落ち着くことができました。ありがとうございました。



職員の方からのお話

命を守る行動

私が中学校に勤務して34年色々なことを経験してきました。しかし、今年の6月18日に北大阪地域を襲った地震災害、7月5・6・7日の集中豪雨、ここ最近の不審者事件や熱中症対策など、こんなに立て続けに人々の命を脅かす事柄が発生したのは初めてです。生徒の皆さんも、保護者の皆さんもさぞかし驚かれたと思います。

学校では、毎年避難訓練を地震・火災・不審者など様々な場面を想定して実施していますが、今回ほど「訓練をしておいてよかったなあ。」と、思ったことはありません。今回の事を教訓として覚えておきたいことは、発生したことを想定して訓練していても、その場所、その時、その時間に応じて対応は深く異なっていくということです。マニュアル通りに行動しようと思っても情報が伝わらない。生徒の皆さんを安全に誘導しようと思っても、どこが安全なのか情報が集まってこない。保護者への連絡をつけようと思っても電話が通じない。など沢山の改善点が見つかりました。マニュアルは

基本形であってそれに縛られず臨機応変に対応していくことが命を守ることにつながるのだと感じました。生徒の皆さんも、災害が発生したら指示者の言葉をよく聞き、何が安全でいち早くどう動けば命が守れるのか、日頃から心がけておくことが重要だと思います。

今回、数々の災害・緊急避難時に中学生の動きは迅速で、よく支持者の言葉を聞き、命を守る行動ができたと思っています。こういう行動がとれるのは中学生の素直さや優しさがあるからなんだなあと思っている日々です。立派やった中学生。

教頭 島本貞文

「ファミリー平和登校日」に寄せて～語り継いでほしい、八月六日を～

昭和二十年八月三日、夏、暑い、暑すぎる。蝉たちは大合唱。空は雲一つない、晴天。当時の広島の子供たちも、現在の中学生と同じように一生懸命に勉強、部活、読書、奉仕・地域活動にきっと汗をかいていたであろう。自らの将来に夢や希望をたくさん抱いていたであろう。「平和」な日常が続いていたのである。しかし、三日後の八月六日。早朝、八時十五分、未来ある生徒たちの人生が一瞬にして打ち砕かれた。空にはキノコ雲(原子雲)。当時、アメリカ軍が広島市に世界で初めての核兵器を実戦使用、原子爆弾(広島ではピカドンともいう)を投下。この年の十二月までに、約十四万人が死亡されたとされている。想像してほしい、箕面市の人口と同程度の人間の貴重な命を奪った、原子爆弾、ピカドンの怖さを、惨さ(むごさ)を。戦後、七十年過ぎたが、被爆者、被爆二世、三世の健康上・精神上的の苦悩は、残念だが、今なお、続いている。広島はヒロシマを背負うこととなった。私の母、叔母、叔父からは、「ピカドンは怖い、憎い。そして悔しい」と「逃げまわった、熱かった。火傷や髪の毛がバサリ抜けた友だちもいた」と「戦争はいけん。絶対にいけん。絶対に。」と何度も何度も繰り返した。彼女たちも九十歳をこえた。先年、前米大統領もヒロシマを訪問し、平和宣言をした。「平和」への一歩と私は確信している。

さて、今年のファミリー平和登校日は、八月三日(金)、テーマは平和・国際人権・命・貧困問題。講演題目「平和への一歩～ウガンダの元子ども兵士から教わったこと～」

講師 栗田佳典(くりた よしのり)さん

みなさんは、知っていますか、

世界には、確認されているだけで、約二十五万人の子ども兵が存在することを。

保護者、地域のみならず、ご多用とは存じますがご参加いただければと思います。そして、これを機会に、ご家族で、地域で、「平和」についてお話しをされては、いかがでしょうか。

拠点校指導教員 若狭周二

学校からのお知らせとお願い

- ◆9月に開催予定の文化祭でのスタンブラリー「二中ハッピーラリー」の景品を、PTA1年生学級委員の皆さまが募集中です。ご家庭で不要になったものや、どこかで眠っているものの中で景品に適切な品がございましたら、ご提供いただきますようお願いいたします。
- ◆今年度、夏季休業中の8月13日(月)～15日(水)を閉校日とし、学校を閉校いたします。また、8月7日(火)の午後につきましても箕面市教職員全体研修のため学校を閉校いたします。
- ◆第26回青少年文化祭のご案内 9月8日(土)、9日(日)メイプルホールにて、展示10:00～、舞台13:00～
- ◆教育委員会・学校へのご意見・お問い合わせは、学校ホームページの「ご意見・お問い合わせフォーム」でも受け付けております。